

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(8)の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない事項についても記述する。また、(1)及び(2)については、必ず【イメージ図記入欄】に、平面図、断面図、イラスト等により当該計画に対する考え方等を示したうえで、当該要点等を記述する。

(1) 居住者のアプローチ計画及びセキュリティについて考慮したこと

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】</div>	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>
--	--

(2) 住戸の配置について考慮したこと

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】</div>	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>
--	--

(3) コワーキングルームの計画について、その位置とした理由及び動線計画において考慮したこと

<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>

(4) 建築物の構造計画について、建築物の特性に応じて採用した構造種別・耐震計算ルート(採用したルートを○で囲む。)とそれらを採用するに当たり、耐震性を確保するために考慮したこと

構造種別	
耐震計算ルート (○で囲む.)	ルート1 ・ ルート2 ・ ルート3 ・ その他()
考慮したこと:	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>

(5) 地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと

<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>

(6) 受変電設備、給水設備及びコワーキングルームの空調設備について、採用した設備とその設置位置を記入し、搬出入及び更新について工夫したこと

受変電設備	設 備	
	設置位置	
給水設備	設 備	
	設置位置	
コワーキングルームの空調設備	設 備	
	設置位置	
搬出入及び更新について工夫したこと		

(7) 地震等の災害に対する設備計画について工夫したこと

<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>

(8) 建築物の省エネルギー計画について工夫したこと

<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>

セルフチェック結果表(セルフチェックリストによるチェックの結果を×・△で記入する)

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

(ミスの内容)

後半模試 セルフチェックリスト

■ 【必ず】 答案のセルフチェックを行ってください

◆セルフチェック結果の記入

答案を完成させたら、下記のチェックリストにしたがって、自分の**答案のチェック**を必ず行ってください。チェック結果は、答案用紙2の「セルフチェック結果表」の該当する「チェックNo.」の**空欄に記入**してください。なお、セルフチェック後に、答案の修正を行った場合は、セルフチェック結果も記入し直してください。

【チェック結果の種別】 「×」…NG・問題有り 「△」…判断が難しい・わからない

【注意】セルフチェック結果表の各欄が**未記入**の場合、及び「×」又は「△」以外が**記入**されている場合（「ミスの内容」記入欄を除く）は、ミス等が無かったものとして添削を行います。

◆ミスの内容の記入

セルフチェックにおいて気付いたミスの内容を、答案用紙2にある「セルフチェック結果表」の「ミスの内容」記入欄に記入してください。なお、質問は記入しないでください。質問が記入されていても、回答はお約束できません。

■ 後半模試のセルフチェックリスト

◆ 基本情報のチェック

チェックNo.	チェック内容
01	平面図において、寸法線に記入ミスや記入漏れが無い。
02	平面図において、階段/EV/吹抜けの位置や大きさに図面相互の不整合が無い。
03	平面図において、階段の表現（昇り方向の矢印等）に間違いや不整合が無い。
04	「2階平面図」及び「基準階平面図（3階平面図）」に、直下階の屋根や庇等が図示されている。
05	面積表において、建築面積の算定式の数値が平面図の寸法線から読み取れて、算定式に間違いが無く、建築面積は「1360㎡以下」である。
06	面積表において、各階の床面積の算定式の数値が平面図の寸法線から読み取れて、算定式に間違いが無く（ピロティ/塔屋/バルコニー/屋外階段/屋上設備スペースは不算入、屋内的用途のピロティ等は算入、2～5階の共用廊下/階段/EVは不算入）、建築物の床面積の合計は「3300㎡以上3800㎡以下」である。

◆ 断面図のチェック

チェックNo.	チェック内容
07	全ての平面図に断面図の切断位置が記入されていて、「住戸A」及び「既存建築物撤去範囲の埋戻し部分」を切断した切断線（西-東）となっている。
08	水平方向の寸法線及び高さ方向の寸法線（1階の床高/各階の階高/図示されている最も高い部分までの高さ/▽1FL～▽5FL/▽建築物の最高の高さ）に記入ミス等が無い。※「▽建築物の最高の高さ」は図示されている場合のみ。
09	室等の位置や名称に、平面図との不整合が無く、主要な室の天井高が記入されている。
10	「建築物全体の立体構成」がわかる断面になっている（全ての階の室等の天井高が記入されている）。
11	基礎/壁/梁/スラブの断面が、概ね適切なサイズで図示されている。
12	塔屋（ある場合のみ）の位置が図示されている。
13	屋上設備スペース（ある場合のみ）の位置が明示されている。

◆ その他の施設等/屋外施設等のチェック

チェックNo.	チェック内容
14	建築物の出入口（▲）が図示・記入されている。
15	日常的に人が出入りする建築物の出入口（主出入口、通用口等）に庇が計画されている。
16	通路、植栽等が図示・記入されている。
17	「敷地内の避難上必要な通路」（ある場合のみ）の経路と幅が図示・記入されている。
18	居住者専用駐車場（普通乗用車用×12台、車椅子使用者用×1台）が計画されていて、その名称/台数が記入されている。
19	前面道路からの自動車の出入口について、出入口であることが明示されていて、幅（歩道の切り開き）が6m以下である。また、交差点及び横断歩道から5mを超えた位置に自動車の出入口を計画している。

20	居住者用駐輪場（31台以上）が計画されていて、その名称/台数/出入口が図示・記入されている。
----	--

◆ 要求室等のチェック

項目No.	チェック内容
21	「住宅部門」の各要求室について、室名と床面積の記入に間違いが無い。
22	「店舗部門」の各要求室について、室名と床面積の記入に間違いが無い。
23	屋内設備スペース（ある場合のみ）について、室名と床面積の記入に間違いが無い。
24	屋外設備スペース（ある場合のみ）について、名称と位置の記入に間違いが無い。
25	要求室の特記事項に記載されている「室/スペース/什器等」が、全て図示・記入されている。
26	「住戸A」「住戸B」の代表的な室内プランが図示されている。
27	各住戸の出入口/メーターボックス（MB）が図示されている。
28	設備計画に応じた設備シャフトが図示・記入されている。
29	「建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分（延焼ライン）の位置（破線）」が全て図示・記入されていて、隣地境界線又は道路中心線からの距離、防火設備の種類が全て記入されている。
30	「防火区画に用いる防火設備の位置及び種別」が全て図示・記入されている。
31	「2階平面図」及び「基準階平面図（3階平面図）」に、「居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離、重複区間の長さ」が図示・記入されている。

※チェック No.32～40は欠番となります。

◆ 計画の要点等のチェック

項目No.	チェック内容
41	(1)のイメージ図が記入されている。(1)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容（「アプローチ計画」「セキュリティ」の2つについての内容）が具体的に記述されている。また、計画の説明だけでなく、「考慮したこと」が記述されている。
42	(2)のイメージ図が記入されている。(2)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容が具体的に記述されている。また、計画の説明だけでなく、「考慮したこと」が記述されている。
43	(3)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容（「その位置とした理由」「動線計画」の2つについての内容）が具体的に記述されている。また、計画の説明だけでなく、「考慮したこと」が記述されている。
44	(4)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容が具体的に記述されている。また、計画の説明だけでなく、「考慮したこと」が記述されている。
45	(5)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容（「支持層の考え方」「採用した基礎構造」「基礎底面のレベル」の3つについての内容）が具体的に記述されている。また、計画の説明だけでなく、「考慮したこと」が記述されている。
46	(6)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容が具体的に記述されている。
47	(7)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容が具体的に記述されている。
48	(8)の記述に、誤字脱字、文法や言葉の用法の誤り、図面等との不整合が無く、求められている内容が具体的に記述されている。

※チェック No.49～50は欠番となります。

以上